

# 算数科学習指導案

新磯小学校

指導者 山口 慶吾

単元名 「箱の形を調べよう」(直方体と立方体)

## (1) 本時の目標

プログラミング教材を使って、数の組で平面上や空間にある点の位置を表すことができる。

## (2) 本時の観点別評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
		数の組で平面上や空間にある点の位置を表すことができる。	

## (3) 本時の流れ (9 / 10時間)

	学習活動と内容	教師の指導と留意点	評価場面と評価方法
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習の流れを確認する。</li> <li>○本時の学習課題を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学習した平面上や空間にある点の位置の表し方を提示し復習する。</li> </ul>	
展開 (25分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">風船がつかまえられる位置の表し方を考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スクラッチのプログラムを作る。</li> <li>・初めに処理を全体で確認し、各自プログラム作りを行う。</li> <li>○全体でプログラムを確認し、完成させる。</li> <li>○風船の位置を変えながら、横・縦・高さのブロックを組み合わせる活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作が難しい児童には、ヒントを出したり、一緒に活動したり支援をする。</li> </ul>	<p><b>【技】</b> 数の組で平面上や空間にある点の位置を表すことができる。</p>
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りを行う。</li> <li>・平面上や空間にある点の位置を表すにはどうすればよいかまとめを行う。</li> </ul>		